



岡田

ふるさとの やさしさを
たくわえて 志高く生きる
岡田の子

舞鶴市立岡田小学校

学校だより

12月号

令和5年11月30日

「相手も自分と同じ 大切にされる仲間」



ついこの間まで黄緑色をしていたイチョウの葉が黄色に色づき、快晴の空によく映えます。11月は校内マラソン大会、市の小学校合同音楽会、駅伝大会、地域行事の参加、環境美化活動及びわくわく広場の実施など、子どもたちの成長や地域とのつながりづくりになくしてはならない活動が数多くありました。協力いただきました皆様に感謝申し上げます。



私は、転任してきた4月からこのイチョウの樹が大好きで毎日見えています。春は幹と天に伸びる枝しかなかった樹に赤ちゃんのような小さな葉が付き始めた時は、とても愛らしく感じました。夏の暑い日には大きな葉に成長したイチョウの樹が日陰をつくり、涼しさをくれました。秋にはざんなん。寒さが強まり、美しい黄色に色づいたイチョウの葉。大人になっても思わず捨ててしまいます。

さて、11月20日から人権旬間の取組をしています。いじめ対策強化月間の取組に合わせて学級担任が一人一人と面談をしたり、人権にかかわる集会や人権学習の中で人権について考えたり、温かなつながりづくりを目指した児童会の提案に取り組んだりします。

人権は、学校の中でも守られなければなりません。ですから、子どもたちには「いじめは絶対に許さない」「つらいことがあれば私も話を聞く」ということを話しました。つらい思いを持っているのであれば、それを解決するために学校全体で関わるという思いを子どもたちと確認しておきたいと思ったからです。

人は誰でもイライラして心の落ち着かない時もあります。学校の様子を見ていると、そのような不安定な心の時に、相手を大切に思えずきつい言葉が出てしまっているように感じます。頭ではわかっているけれど、それが行動につながっていかないのは、「友達も自分と同じ大切にされる仲間」であるという心の土台のところが弱いかもしれません。

学校や社会で人権が守られるようになるためには、「人を大切にする心」を育むことは欠かせません。考え方や心の土台作りがされる小学生のこの時期こそ人権について考える必要があります。そのために、これからもたくさんの人と関わり、人の役に立ったり、褒められたり、頼りにされたり頼ったり、時には喧嘩をして仲直りをしたりする等、人との間で成り立つ「居場所・やりがい・つながり」のある生活経験ができるよう、教職員全員で教育活動をすすめてまいります。

一人一人が大切な子どもです。保護者の皆様、地域の皆様にも変わらず心の成長に欠かせない温かな言葉がけや支えを今後ともよろしく願いいたします。



2学期もあと1か月足らずです。それぞれの学級では2学期のまとめに入っています。2学期の学びを振り返る大切な時期です。体調を崩しがちな時期でもありますが、生活リズムを整え、子どもたちが健康でいられますようよろしくお願いいたします。

舞鶴市立岡田小学校 校長 森 祐子

一生懸命走っている友達を応援する子どもたち。「がんばれ〜。」の大合唱でした。応援することは相手を勇気づける。そのことを経験しているから行動につながるのだと思います。素敵な姿です。

HP 順次更新中
okada-maizuru.edumap.jp
QR の読み込み OK



豊かな学びを創り、ともに育つ学校
岡田小学校